

【2020 年度 9 月卒業者対象】ゼミ論文・卒業研究の作成・提出について

複合文化論系では、ゼミ論文・卒業研究の作成・提出にかんする論系独自の取り決めがあります。以下のゼミ論文・卒業研究内規を熟読のうえ、これに従って作成・提出してください。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のための措置により、提出期間や提出先など、例年と異なる点がありますのでご注意ください。なお、卒業研究は、原則として複合文化論系の執筆要領の指示に従って作成していただきますが、とくに指示がない点については文化構想学部全体の規定に準じてください。

参照：文化構想学部ウェブサイト>在学生の方へ>論系ゼミと卒業研究>3・4 年次生向けのお知らせ

9 月卒業希望者：卒業研究作成・提出にあたっての注意事項

https://www.waseda.jp/flas/cms/assets/uploads/2020/05/20200528_binding_submission_thesis_CMS.pdf

9 月卒業希望者：卒業研究提出方法について

https://www.waseda.jp/flas/cms/assets/uploads/2020/05/202009_thesis_submission_CMS.pdf

【2020 年度 9 月卒業者対象】ゼミ論文・卒業研究内規

1. 提出期間・提出先

提出期間：2020 年 7 月 9 日（木）10:00～15 日（水）24:00（日本時間）

提出先：

【ゼミ論文】 Waseda Moodle 上の非正規科目「**【複合文化論系】2020 年度 9 月卒業者 ゼミ論文提出**」内のレポートボックス（7 月上旬設置予定）

*ファイル名は「学籍番号_氏名_ゼミ論文.pdf」（学籍番号は半角数字 8 桁、ハイフン以降は不要）とする。ファイルサイズは、最大 500MB まで受付可能。期間中は何度でも提出できるが、最後に登録した内容を最終的な提出物とする。

【卒業研究】 Waseda Moodle 上の非正規科目「**2020 年度卒業研究**」内のレポートボックス

*ファイル名は「学籍番号_氏名_卒業研究.pdf」（学籍番号は半角数字 8 桁、ハイフン以降は不要）とする。ファイルサイズは、最大 500MB まで受付可能。期間中は何度でも提出できるが、最後に登録した内容を最終的な提出物とする。

2. 執筆要領

- ・論文の種類は学術論文に限ります。小説等の創作は認めません。
- ・論文の本文のほかに、表紙と論文概要と目次を付し、「表紙→概要→目次→本文」の順で 1 データに統合してください。
- ・提出データは 1 人 1 データとする（見返り紙（白紙）は不要）。データ形式は「PDF」とする。図・表などを含む場合は、同一データ内に収まるように工夫する（どのような仕上がりにするかは指導教員に相談する）。

- ・用紙サイズはA4とする。B5は認めません。1ページあたりの文字数と行数、その他の書式に指定はありませんので、指導教員の指示に従ってください。
- ・文字数は、論文の本文は400字詰の原稿用紙換算で50枚(=20,000字)以上、概要は5枚(=2,000字)以上とします。概要は本文の文字数に含まれません。注釈や図版等を本文の文字数に含めるかどうかは指導教員の方針に従ってください。規定の文字数に満たない論文は審査の対象外になります。
 - * 外国語での執筆を希望する場合は、予め指導教員に相談し、指示に従ってください。外国語での執筆が認められた場合でも、概要は日本語で執筆してください。本文の分量は、12,000語以上とします。
- ・論文にはページ番号を振ってください。振り方は指導教員の指示に従ってください。
- ・表紙は右記の記入例に従って作成してください。

【表紙記入例】

2020年度 ゼミ論文(卒業研究)

超域文化ゼミ(集合的アイデンティティの諸相)
(*卒業研究の場合は必要ありません)

主査 山田 真茂留 先生

題目 ○○○○—○○○—

文化構想学部 複合文化論系

学籍番号 1Txxxxxx-x

氏名 ○ ○ ○

注意事項

- ・提出期間を厳守すること。提出期間を過ぎた場合には受理しない。提出は、締切間際ではなく、十分余裕をもって行うこと(なお、PC環境や通信ネットワーク混雑等の問題により提出できなかった場合は、本人責任となる)。
- ・PCで作成する場合、機器故障やデータの損失、消失等による提出の遅延は一切認めない。必ずバックアップ等の保全処置を講じておくこと。
- ・提出は、作成者本人が行うこと。
- ・提出されたゼミ論文・卒業研究の題目は論系のウェブサイトなどに掲載します(氏名は掲載しません)。

ゼミ論文・卒業研究の作成に関するよくある質問

Q: 目次や謝辞はどこに入れたらいいですか?

A: 「論文概要 → 目次 → 本文 → 謝辞」の順番にしてください。

目次は必須ですが、謝辞は任意です。

Q: 副題はどのように表記したらいいですか?

A: 前後にemダッシュ記号(—)を二つずつ付けてください。

例: 「文化とはなにか——現象学的試論——」

お問い合わせ

ゼミ論文・卒業研究の作成・提出に関して不明な点がございましたら、複合文化論系メールアドレスまでお問い合わせください。

複合文化論メールアドレス: info@fukugo-waseda.jp